

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

- ・階段のみ、バリアフリーではない。
- ・車どおり人通りがとても多く、送迎時の安全確保に注意が必要。

B児童への支援内容

- ・個別の課題や興味のある内容にあわせてカスタマイズしながら取り組んでいる。
- ・プログラム内容を工夫している。
- ・送迎時でも一定のルールの中で楽しい空間や時間、関わりができるように取り組んでいる。
- ・送迎によりミーティングやカンファレンスが全員でできない場面が増えた、その分空き時間での情報共有の場を増やしている。
- ・長期休暇や土曜日は平時では時間的/内容的に提供が難しい活動(時間的余裕のある)を行っており、こどもたちも楽しみにしている。
- ・保護者会や懇談会ができていない。

C関係機関との連携

- ・他施設との交流は行っていない。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・必要に応じて面談を行っている。
- ・見学や契約時に説明を行っている。
- ・月のおたより（次月予定と当月の活動報告）や連絡帳、送迎時等で説明や報告を行っている。

E非常対応

- ・地震・火災・水害それぞれをテーマとし年3回の防災プログラムを行っている。(ハザートマップチェック・避難

保護者による評価

A環境面

- ・エレベーターがなく階段のみ。
- ・階段は他施設との共有部なので、対応は難しいのではないか・・・

B児童への支援内容

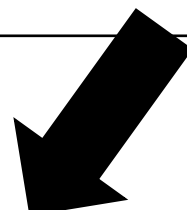
- ・わが子の性格を理解しメリハリのある支援をさせていただいている。
- ・他児童との活動を取り入れるのもいいと思います。
- ・現状の把握、今後の課題をしっかりと面談で確認、内容を踏まえた計画が立てられている。
- ・支援計画はできあがり次第欲しい。
- ・活動プログラムに多様性がある。

C事業所からの情報発信

- ・質問に対して丁寧に対応していただいている。
- ・子どもの状況を連絡帳や直接のフィードバックでして細やかに伝えていただいている。
- ・保護者参観や保護者会の開催を希望します。
- ・文句や苦情が今のところないのでよくわかりません。
- ・保護者同士が連携できる場や、親同士で相談できる機会があるとよい。
- ・連絡帳の取り違えがあった。

D非常対応

- ・マニュアルの細かな説明はなかったように思う。
- ・避難訓練は未実施と聞いている。



事業所内での分析

【共通点】

環境面の意見/周辺や建物共有スペースについて
プログラムの多様性。

個別の課題に対して、計画に則った様々なアプローチを行い、保護者様への説明、職員の情報共有を日々行っている。

保護者様どうしの連携やコミュニティが広がるような機会の提供。懇談会等

【相違点】

各種マニュアルについての情報開示。

玄関まで送迎に来て欲しい。

車両乗降の安全性向上。

分析・検討してみた

事業所の強み

- ・プログラムの多様性。
- ・カスタマイズした個別支援。
- ・同施設内の児童発達からの切れ目のない支援体制。各種連携と情報共有。

事業所の改善点

- ・乗降時の安全性と効率化の確保。
- ・計画はできあがり次第欲しい。
- ・防音・振動対策を行うも、ある一定以上の運動やからだの動きで下階よりの苦情がある。
- ・送迎場所に関してのご意見（時間や場所）
- ・各種マニュアルの周知徹底について。
- ・連絡帳の管理について。

事業所の改善への取り組み

- ・ 徒歩1分圏内の駐車場を利用開始し、主たる乗降場所とし
他可能なスペースも活用しつつ、安全な送迎を実施します。
- ・ 責任者の状況にもよりますが、面談後は速やかに計画の作成を行います。
- ・ 送迎形態に関しましては、安全性の確保、余裕をもって到着可能なルートや時間設定
を優先としつつ、保護者様と相談の上の変更等も含め、決定していきたいと思ひます。
- ・ 運動療育も取り入れていくうえで、必要に応じ騒音・振動対策の環境整備を
進めていきます。
- ・ 各種マニュアルは保護者様への配布および説明のうえ
入口の掲示を実施、全スタッフへの周知の徹底を行います。
- ・ 個別の書類や連絡帳の管理徹底に努めます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ 今日Kodomoに行ってよかった。また次が楽しみだな...。と思ってもらえるような過ごしを提供し、
保護者様とともに子どもたちの成長を喜び、課題に対してともに考えながら
本人が持っている力を引き出し、自分で考えて行動し、前に進むことができるような支援を
行っていきたいです。